あらまし

国立花山青少年自然の家について

1975年の学制百年を記念する事業として、自然の中での集団宿泊生活を通じて、健全な少年の育成を図るために国立少年自然の家が設置されました。花山青少年自然の家は国立少年自然の家の4番目の施設として、昭和54年7月に開所しました。

当施設は宮城、秋田、岩手の県境を中心とした栗駒国定公園の中の主峰「栗駒山」の南麓に位置し、四季折々に色を変える草木や風が運ぶ小鳥のさえずりに自然の美しさを、そして、一面の銀世界に姿を変える冬の厳しさと、壮大な大自然の営みを私たちに見せてくれます。

砥沢や花山湖等豊かな自然環境に囲まれた青少年教育の拠点として、年間を通じ、東北地方を中心に多くの青少年が訪れ、野外活動・スポーツ・研修等に利用されています。

研修室

宿泊室

浴室

花山青少年自然の家　案内図

野外炊事場

オリエンテーション室

つどいの広場

利用者玄関

プレイホール

施設概要

野外施設
- 第１野外炊事場…屋根付き　かまど 40口
- 第２野外炊事場…屋根付き　かまど 30口
- 野外トイレ…1ヵ所
- 営火場…4ヵ所（大・中・小2）
- ロープトゥ…約80m（冬期間）
- 冒険の森…PA ロープスコース（ローエレメント 12 コース）

生活関係棟
- 食堂…232 席
- 浴室…山の湯（60 人）・花の湯（40 人）・星の湯（4 人）
- 売店…日用雑貨・菓子・飲み物等
- 乾燥室…服乾燥・靴乾燥

宿泊棟
- 宿泊室…16 人 ×24 室・8 人 ×3 室
- 談話室…4 室
- 宿泊室…4 人 ×8 室・2 人 ×2 室

管理研修棟
- 事務室・保健室・会議室・打合せ室
- 研修室…大（約100人収容）・中（約40人収容）小（約30人収容）
- オリエンテーション室…約150人収容
- プレイホール…バスケット・バレーボール・バドミントン・卓球など
- 工作館…クラフト等創作活動・野外炊事等
- クラフト室…クラフト等創作活動
- 講師室…シングル2室・ツイン4室・和室1室

キャンプ場
- 管理棟…避難場所・キャンプ用品
- 炊事場…屋根付き　かまど30口
- テント…6人×20張
- バンガロー…6人×8棟
- シャワー棟…男女各8ヵ所
- トイレ…男女各8人用
- 営火場…1ヵ所

敷地等

敷地面積	201,159 ㎡
建物延面積	12,301 ㎡
活動エリア	2,501,802 ㎡
キャンプ場敷地面積	137,000 ㎡

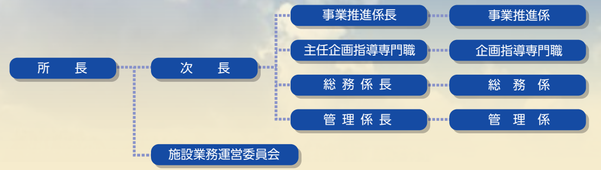
リック（マスコットキャラクター）

当青少年自然の家の周辺でよく見られることや、親しみやすいことからマスコットを「リス」とし、リスをイメージさせることや、野外活動のメインである登山、ハイキングに不可欠なリュックにちなみ、ニックネームを「リック」とした。

（平成9年2月19日制定）

組織図

（平成29年４月１日現在）



南蔵王野営場　案内図

南蔵王野営場施設概要

敷地面積	438,558㎡
建物延面積	2,626㎡
主な施設・設備	常設テント（37張）、移動テントデッキ（55基）、炊事場、水洗トイレ、営火場、キャンプセンター（兼荒天用施設）、シャワー棟、乾燥室、駐車場、キャンプ用品（テント・シュラフ・炊事用道具等）

※キャンプ用品の貸出しは有料となります。

所章

花山の頭文字「H」と吾妻石楠花（あずましゃくなげ）の花びらをかたどり図案化したものであり、また、花びらが4枚なのは、国立の少年自然の家の設置順位が第4番目の意味です。

（図案　初代庶務課長 松田晴夫氏）

沿革

昭和	49年 1月	国立第4少年自然の家設置が宮城県栗原郡花山村に決定
昭和	53年 10月	機関設置
昭和	54年 7月	一部事業開始（定員200名）
	10月	管理研修棟、生活関係棟完成
昭和	55年 5月	事業本格化（定員400名）
	10月	開所式挙行、所旗制定
	11月	すりばち広場、冒険広場等完成
昭和	58年 8月	キャンプ場開場
昭和	59年 3月	工作館完成
昭和	61年 4月	利用者50万人達成
平成	元年 3月～平成4年12月	キャンプ場ログハウス8棟完成
平成	3年 10月	利用者100万人達成
平成	6年 11月	野外炊飯場用具庫完成
平成	9年 2月	マスコットを「リス」、ニックネームを「リック」に決定
平成	9年 3月	キャンプ場シャワー棟完成
平成	9年 12月	簡易スキーリフト（ロープトゥ）設置
平成	11年 1月	利用者150万人達成
平成	11年 10月	開所20周年記念式典挙行
平成	12年 11月	冒険の森（PAロープスコース）完成
平成	13年 4月	行政改革により、独立行政法人国立少年自然の家国立花山少年自然の家へ移行
平成	16年 9月	利用者200万人達成
平成	17年 4月	花山村が栗原市花山となる
平成	18年 4月	組織改編に伴い、独立行政法人国立青少年教育振興機構国立花山青少年自然の家へ移行
	同	国立南蔵王青少年野営場が花山所管となり国立花山青少年自然の家南蔵王野営場に名称変更
平成	20年 6月	岩手・宮城内陸地震による被災のため利用者の受入停止（南蔵王野営場のみ稼働）
平成	22年 5月	利用者の受入再開
	6月	事業再開記念式典挙行
平成	23年 3月	東日本大震災による被災のため利用者の受入停止（4月より一部受入再開）
	4月	南三陸町被災者の避難所開設（～同年9月まで）
平成	28年 9月	利用者300万人達成